

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	保険年金課長	持田浩史
健福-51 国民健康保険事業(特別会計)		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	保険年金課
総合計画上の位置付け		分野	健康福祉	施策の方針
				市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	鎌倉市国民健康保険被保険者
意図	被保険者の医療保障・健康事業活動を行い、市民の健康の保持増進を図る。
効果	市民の医療保険の向上及び福祉の増進を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

市内に居住する国民健康保険事業の被保険者とその家族の安定した医療保障を図ることを目的とする事業。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	46,599人	46,599人	47,921人	47,921人	
運営資源状況	当初予算(千円)	21,387,000	決算値(千円)	18,379,015	
	国県支出金	4,362,989	国県支出金	4,425,290	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	11,426,612	その他	8,750,510	
	一般財源	5,597,399	一般財源	5,203,215	
	人員配置数	17.3	人員配置数	17.3	
	人件費(千円)	136,415	人件費(千円)	131,601	
事業経費運営	総事業費(千円)	21,523,415	総事業費(千円)	18,510,616	
	市民1人当りの経費(円)	121,434	市民1人当りの経費(円)	104,306	
	対象者1人当りの経費(円)	461,886	対象者1人当りの経費(円)	386,274	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	医療費の支出が増加傾向である中で、国民健康保険を財政面において安定的に運営すること。
課題解決のために行った平成26年度の取組	保険料の収納率向上に努めるなど国民健康保険の安定的な財政面での運営に努めた。
未解決の課題 新たな課題	国民健康保険の安定的な財政面での運営の確保

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 被保険者の健康維持に効果的な保健事業を進めると共に、保険料の口座振替推進のため、ペイジーを導入し、市民の利便性の向上を図り、保険料収納率の向上にもつなげていきたい。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市民生活に大きく寄与している事業であり、事業内容を変更することはできず、国民健康保険の医療費は増加傾向であるが、保険料徴収率の向上や医療費の適正化を図り、出来る限り支出の増大を抑え、国民健康保険財政の安定化を図っていくため。
総評	今後の事業の広域化を視野に入れつつ、保険料収納率の向上と医療費の適正化を図り、国民健康保険財政の安定化を図ることで、保険制度のより適正な運用を行う。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---